

菅谷 亜加里さん

来た来た早苗がんばれと思いましたが、一人ぬかされて、バトンゾーンを超しそうになってギリギリでパス。渡してからころんじやった。



神馬 早苗さん

フライングしないように気をつけて緊張していたら、スタートが遅れてしまいました。精いっぱい走って5位でバトンパス。

橋本 裕子さん

決勝のスタート前に神馬さんと菅谷さんが私に手をふってくれて、余裕があったみたい。私も走っているつもりで精いっぱい応援しました。みんなですらったメダルがうれしいです。



森 智晶さん

手を出してからもらうまでにバトンがなかなかこなかったからどうしたのかなと思いました。メダルが欲しかったから、がんばって二人ぬきました。



東 みどりさん

バトンパスがうまくいって一人ぬきました。三人いっしょにゴールしたと思ったんですけど、写真判定で1位とは0秒46、2位とは0秒03差で負けたのがくやしかったです。

みんなのがんばりで、初出場の緊張をものともせず第3位。京都市で8月25日に開かれた第6回全国少年少女リレー競争大会の400メートルリレーで、幕別小学校6年の女子リレーチーム・幕別陸上クラブの5人がすごい成績を上げました。1位との差が百分の46秒の53秒69の好タイムで、この大会で十勝勢が入賞したのは初めて。全道大会で優勝してから2カ月間、毎日練習を続けたみんなの努力に拍手。

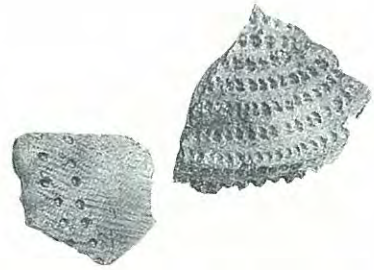
すごいぞ全国3位

10 まい **わ** 広報

1990 No.465

9月1日現在
男10,623人
女11,212人
計21,835人
(前月比+23人)
6,874世帯

土器が出たよ ドキドキするなあ



札内神社の西側高台で、8月から町の埋蔵文化財発掘調査が行われています。この場所は、道の教育委員会が昭和四十九年に行った調査で、縄文時代の早期の遺跡ではないかと言われています。調査は順調に進み、土器や十勝石の石器などがぞくぞくと発掘されています。十月十日まで続けられる予定で、これからどんな物が出てくるかドキドキしますね。



十勝石の原石と穴のあいた石がたくさん出てきた。十勝石は音更川、穴のあいた石は猿別川の物と考えられ、一つの遺跡でこんなに出てくるのはめずらしいと指導員の大矢さんが言っていた

発掘は18人の作業員で進められている。どんな小さな物も見のがさないように、少しずつ土をけずる





調査指導員の
大矢義明さん
(音更町)

京都生まれで京都の埋蔵文化財研究所にいて、それから十勝に来ました。北海道は本州と比べるとまず弥生時代がないし、文献も残っていないので、発掘した物を調べるのが大変な作業です。

幕別町の遺跡を発掘するのは始めてですが、ここは約六千年から二千年前の縄文時代と考えています。十勝石の原石や穴のあいた石がたくさん出てきていますが、これは他ではみられないことです。

発掘調査の作業員を募集していると聞いて申し込んだんですけど、思ったより大変な仕事です。特に八月は暑いし、力仕事が目だったので、家に帰ったらバタンキューだったんですよ。

始めのころは草を刈ったり、表面をはがしているだけだったので、つまらなかつたんですけど、今はいろんな物が出てくるから楽しいです。歩いている下が縄文時代なんて、おもしろいですね。



発掘作業をしている
矢野栄子さん
(春日町)



札幌市街を見おろしながら進められている発掘作業。過去と現在が同時にあって、なんとなく不思議



同じ十勝石で作られた石器でも上と下では使い方が違う。上は肉が切れるようにすどくなっていて、下は皮をはぐ物で肉まで切らないように少し丸身がある

土器に縄のような網目もようがついているから縄文土器と言い、その土器を使っていた時代を縄文時代と言う。下の写真は同じ物の表と裏で、穴をあけてあるのがめずらしく、土器についていた、とっ手なのかもしれないと大矢さんが言っていた



どやっぱり幕別がいい

国内研修で東京に行って感じたことあれこれ

大都会・東京の歴史や生活、文化を人との交流を通して学んでもらおうと、今年も七月三十一日から八月三日まで、少年国内研修が行われました。目黒区の人達の家庭でのホームステイやいろんな施設を見学して、東京はどうだったのか、何を感じたのか、八月二十五日に報告会を開いて、十五人の子供たちにも感想を聞きました。

友達がたくさんできた



金子信隆くん

(札幌白小6年)

交流会で聞いた目黒まぐら離子は、学校でも取り組んでいるという。目黒区の子供たちが気軽に迎えてくれて、友達がたくさんできたのが一番良かった。



楽しかった目黒区子供会との交流会。大学生や高校生も子供会活動をしている

女の子と車の中でもいっしょで、ほとんど緊張しないで、花火もしたし、楽しく過ごせました。



永井 桂さん

(糠内小・6年)

駒場公園の前田家の洋館と和館がとってもきれいで、印象的でした。ホームステイでは、その家の

きれいだっった洋館

ケタ違いのデイズニー



西明正博くん

(駒島小6年)

デイズニーランドに行く時は夢かもしれないと思っていただけ、実際に行ってみて、夕張石炭の歴史村とケタ違いの広さと人で、一日じゃ乗りきれないと思った。

目黒区の郷土資料室を見学。江戸時代の農家のようなすがわかった



国内研修日程

- 7月31日(火)
 - 幕別町発～東京目黒区着
 - 目黒区内見学
 - 1～4人にわかれホームステイ先に泊まる
- 8月1日(水)
 - 目黒区子供会連合会歓迎式・交流会
 - 渋谷NHKセンター見学
 - 目黒不動産見学
 - ホームステイ先へ
- 8月2日(木)
 - 国会議事堂見学
 - 東京ドーム見学
 - 電力館見学・目黒区とお別れ式
 - 目黒さつき会館宿泊
- 8月3日(金)
 - 東京デイズニーランド見学
 - 羽田空港発～幕別町着

やっぱり幕別がいい



山口晃弘くん

(途別小・6年)

幕別と東京を比較して、東京はスゴイ所だけど、暑いし、あまり好きじゃないし住みたいとも思わなかった。幕別の方が自然もいっぱいあって広々としているので、やっぱり住むなら幕別の方が絶対いいと思った。

楽しかったホームステイ



加藤紀代美さん

(古舞小・6年)

なかなか、なじめないのじやないかと思っただけれど、温かく迎えてくれて、最初から緊張しないで過

ごせました。永井さんと高薄さんの五年生の子との三人で、楽しく話げできました。

東京ドームを幕別に



中山元気くん

(札幌南小・6年)

東京の人は冷たいと思ったけど、いろんな所に連れて行って教えてくれてやさしかった。いい思い出になった。東京ドームみたくの幕別にも造れば、もっと有名になると思う。

東京はスゴイけ

15人の子供たちが少年



東京大学に行きました。入ってみて今度は入学できたらいいなと思った



景山裕之くん
(幕別小・6年)

びっくりビックリした

国会議事堂がすごく広いので、びっくり。旧前田家の洋館が昭和四年に造られたと聞いて、そんな古い時代にこんなに広くできたのかと不思議でびっくりした。

もう少し乗りたかった

ディズニールンドは乗り物の待ち時間がすごく長くて、一番待ち



山内香恵さん
(相川小・6年)

時間の少ないところをさがしながら乗ったので、もう少し乗りたいたい気分になりました。

迫力あったドーム



谷内弘尚くん
(明倫小・6年)

東京ドームの実物は迫力があつてすごくでかく、中もたくさんの方が座られる。ドームから出る時、風に押されるようになって出たのがおもしろかった。



吉田祐子さん
(札内北小・6年)

赤いジユウタンに感激

私は国会議事堂で、いろんな議員さんが踏んでいる、真っ赤なジユウタンの敷いてある床を歩くことができて、とても感激してしまいました。

幕別と全然違っていた



藤井喜章くん
(中里小・6年)

東京は幕別とは全然違っていた。目黒区との交流でしたゲームは学校でしたことがあったので、楽しかった。ホームステイ先も温かく迎えてくれて、うれしかった。

お兄さん達と原宿に



藤井邦博くん
(札内中・3年)

東京ドームと国会議事堂を見たかった。東京ドームは思っていたより大きくなく、国会議事堂は大きかったけど、威圧感はなかった。ホームステイ先のおばさんがやさしくて、お兄さん達が原宿に連れて行ってくれて、うれしかった。

大学生が子供会活動

私の子供会は中学生も入っているのだけれど小学生が中心だし、目黒区の子供会は、高校生や大学生も活動しているので、すごいな



村瀬希さん
(札内東中・3年)

と思います。国会議事堂は立派すぎて、びっくり。東京大学を見て入学できたらいいなと思いました。

目黒区のお囃子が印象に



森本昭彦くん
(糠内中・3年)

目黒区との交流の中で、伝統的

夢のディズニールンドは広さも人も待ち時間もケタ違い。もう少し乗りたかった



な行事で良く行われている、目黒囃子が、とても印象に残った。初めての東京なので、見る物すべてがめずらしく、国会議事堂を見たかったのでとても良かった。ディズニールンドのサンダーマウンテンは、すごい迫力だった。

知らないことがたくさん



石原俊明くん
(幕別中・3年)

国会議事堂の傍聴席に座わり、テープで説明を受けて、こんなにすごいものかと思ひ、東京ドームが気圧でふくらんでいると聞いて、知らないことがたくさんあると思つた。目黒区の子供会との交流の中で聞いた「目黒囃子」は、とても上手だと思った。

平成2年度の幕別町功労者等表彰式が開町記念日の10月1日、町民会館で行われ、自治、経済、社会等の発展に顕著な功績のあった方7人を表彰。またスポーツで功績のあった方1人に教育委員会からスポーツ賞が授与されました。

地域・町の発展に尽力されたみなさんを開町記念式典で表彰

長年の功績をたたえて

社会功労



久保 一郎さん
(65歳・古舞)

昭和三十六年二月から現在までの二十九年間、統計調査員として北海道農業基本調査二十四回、農林業センサス七回、国勢調査五回と多数の統計調査に従事し、本町行政の推進に多大な貢献をされました。

社会功労



杉本 峰夫さん
(61歳・明倫)

昭和三十六年二月から現在までの二十九年間、統計調査員として北海道農業基本調査二十四回、国勢調査四回など多数の調査に従事し、本町行政の推進に多大な貢献をされました。また農業委員として指導的立場で農業の発展に寄与されました。

社会功労



稲葉 延壽さん
(63歳・大豊)

昭和四十年二月から現在までの二十五年間、統計調査員として北海道農業基本調査二十一回、国勢調査四回など、多数の調査に従事し、本町行政の推進に多大な貢献をされました。また公区長を三年間務められ、地域住民の信望を集められています。

自治功労



寺林 幸雄さん
(58歳・美川)

昭和四十七年七月に農業委員会委員に当選。卓越した識見と行動力により、五十六年七月から農業委員会代理。五十九年七月から農業委員会会長として、農民の地位向上、農家経済の安定、農村環境整備等、農業の振興に多大な貢献をされました。

スポーツ賞



駒井 健一さん
(19歳・青葉町)

第四十四回国民体育大会卓球競技少年男子の部北海道予選会で優勝し、第四十四回国民体育大会(平成元年九月開催・美唄市)卓球競技少年男子の部で第三位の好成績を収めました。また日ごろの生活態度も良く、他の学生の範となっています。

産業功労



吉島 清一さん
(69歳・途別)

昭和四十七年四月から十八年間、幕別町農業共済組合理事として、副組合長を九年間、組合長を六年間歴任され、農業の発展に貢献。五十年四月からは幕別町森林組合理事、副組合長として民有林の造林育成に専念、本町の今日の緑化に貢献された。

社会功労



大島 輝男さん
(56歳・五位)

昭和三十七年一月から昨年十月までの二十八年間、非常備消防団員として消防活動に従事。第三分団での五十一年五月から五年間の連続無火災の達成のために火災予防に尽力され、地域住民の生命、財産の保護に貢献されました。

社会功労



古田一二三さん
(71歳・中央町)

昭和四十六年から十八年間、民生児童委員として地域住民福祉に対する意識向上に努められ、低所得者の自立更生指導などに尽力。また公区長、奨学資金選考委員、公営住宅入居者選考委員等も歴任され、地域住民の信望を集められています。

白寿 白姫ふみ



達者でなによりだね

札内スポーツセンターで41回目の敬老会

今年で41回目の敬老会は、会場を札内スポーツセンターにして一度に開催しました。町内のあちこちから11台のバスに乗ってやって来た元気なおじいちゃん、おばあちゃんは750人。林町長の歌や婦人ボランティアの踊りなど見ながら、楽しいひと時を過ごしました。今年も達者でなによりでしたね。

歌や踊りなどのアトラクションで、楽しいひと時を過ごしました。



おばあちゃん おめでとぅ 白寿

明治二十五年四月生まれの磯部なみさん(千住)は、今年数え九十九歳。元気でめでたく「白寿」を迎えました。八月二十六日には、親族やかわりのある人達百三十人が集まり、おばあちゃんの白寿をお祝いしました。

十勝中央大橋の上流に入植。二十歳の時に結婚しましたが、ご主人が亡くなり、昭和五年に磯部長三郎さんと再婚。長三郎さんが十年前九十五歳で亡くなり、今は長男の判治さん夫婦を中心に四世代八人家族で暮らしています。仏様にお経をあげるのと散歩が日課で、相撲と時代劇を見るのも大好き。このまま達者で長生きしてくださいね。

町に草刈り機を寄贈



林町長に草刈り機を渡す福田会長と協会役員のみなさん。

この日は朝八時に福田会長や協会役員がサーモンコースに集合。「いつもコースを使わせてもらっているお礼です」と福田会長から林町長に渡されました。町ではさっそく町営のコースで

幕別町パークゴルフ協会(福田省市長・会員四百人)が九月九日、町に小型トラクタ1式の草刈り機一台を寄贈してくれました。これは、会員たちが今まで積み立ててきたお金をパークゴルフ場の管理に役立つように使いたいとみんな相談し、約百二十万円で草刈り機を購入したものです。



幕別町で生まれた パルクゴルフ

使わせていただいております、今までの手押し式より三倍も早く作業ができる職員も喜んでます。
チャレンジ94

男子は小室さん、女子は額額さん チャレンジ94がサーモン、つじの両コース(72ホール、パ1264)で八月二十六日に開かれ百人が参加。男子は小室、西山、塚田さんが227の同スコアで並びプレーオフの結果、小室一男さんが初優勝。女子は額額末子さんが接戦の末一打差で優勝を飾りました。

北海道オープン幕別大活躍

北海道オープンが九月九日、北海道オープンが九月九日、サーモン、つじの両コースで開かれ二百三十二人が参加。男子は十位までに準優勝の菅原健士さんほか五人、女子も七位までに優勝の額額末子さんほか三人が入りました。

全十勝大会は九月九日、豊頃町茂岩山パークゴルフ場で開かれ百九十六人が参加。男子は優勝の三好光春さんをはじめ上位三人が幕別勢、女子も西山桃子さんが三位に入り、どちらの大会も、幕別勢が大活躍でした。

今年の五月一日午後、幕別中学校二年生の穴吹秀行君、斉藤雅登君、池田将君、三井大輔君、佐々木崇君の五人が自転車で行く途中、道路から約二十五メートル離れた東側の野原で野火を発見。

みんなで足や木の枝などで火をけそうとしましたが、なかなかきえなかつたため、車両センターに行って「火事だ」と話し、車両センターの職員といっしょに再び戻って自分たちが着ていたジャンパーを脱いで消火活動をしました。車両センターから通報を受けた消防車が着いたころ、野火は約二百平方メートルを焼いて、ほぼきえた状態でした。勇敢な五人の行動に対し、東十勝消防事務組合（組合長・林照男町長）は、消防協力表彰を行うことに決め九月十一日、幕別消防庁舎の組合長室で表彰式が行われました。林組合長は一人ひとりに感謝状と図書券を手渡してから、「当時は空気が乾燥していたので、君たちの活躍がなければ大きな火事

みんなで力を合わせて野火が広がるのを防ぐ

感謝状を手にする左から穴吹君、斉藤君、池田君、三井君、佐々木君



になることでした。君たちの勇気ある行動と適切な判断に感謝します。本当にありがとう」と話し、五人の子供たちも「みんなで一生懸命けそうと思いました。ジャンパーがこげちゃったけど、きえて良かったです。表彰されてうれいす」と話していました。力を合わせて火をけそうとした君たちは、えらい。

子供たちが活躍しています。野火を発見して消火活動をした幕中2年生の5人。吹奏楽で全道大会に初出場した札中の吹奏楽部。みんな輝いているよ。

いいぞいいぞ幕別の子供たち

やったね

練習の成果がでたね 札内中学校吹奏楽部 全道大会に初出場

札内中学校の吹奏楽部がついに全道大会に初出場。同校吹奏楽部は、二年前から吹奏楽団体コンクール帯広地区予選大会のC編成の部（二十五人以内）に出場し、二年連続で金賞を受賞していました。

今年こそはと帯広地区予選大会に向け、みんなで一生懸命練習を続けました。九月二日、大会には十四校が出場。札中は「斑鳩（いかるが）の空」を精いっぱい演奏。金賞を五校受賞した中から札中は最優秀賞に輝き、三度目の挑戦で、念願の全道大会へ出場することになりました。最優秀賞の受賞と全道大会出場の報告をかね、十三日、部長の中山かおりさん、副部長の高山友恵さんが先生とともに林町長を訪れました。中山さんが、「自分たちの実力をだせるようにガンバリます」と決意を述べると、林町長は「日ごろの練習の成果がでて良かったですね。全道大会でも精いっぱい演奏し

てきて下さい」と激励。

全道大会は九月十五日、札幌市厚生年金会館で開かれ、C編成に十一地区から十九校が出場。札中は銅賞の成績でした。来年もまた、みんなでガンバレ。

全道大会に向けて一生懸命練習を続けました



まちの ニュース 今月も ワイド版

今年も国勢調査です

今年も五年に一度の国勢調査の年。九月十一日から三日間、調査員への説明会が聞かれました。みなさんの家にも調査員がお伺いして、調査票に記入のお願いをさせていただいたと思いますが、国勢調査は将来の日本、幕別町の進むべき道を決める大事な基礎資料になります。ぜひご協力をお願いします。



ちびまる子ちゃんも登場

いかにべつ 唎別神社のかかし祭りが8日、開かれ、11体のかかしがズラリと並びました。今、子どもたちに大人気のちびまる子ちゃんやコンスタンチンちゃんガンバレというのも登場。それにしても前総代、脇坂正二さんのかかしは似ていたなあ。みなさん一見の価値あります。



青空バザール大好評

幕別町消費者協会の青空バザールが9日、町民会館の前で開かれ、服500点、食器類100点、おもちゃなどの子供用品200点が並べられました。始まる前からたくさんの人が訪れ、値段も5円から400円と安いこともあって、2時間で全部売れました。



神社が新しくなった

八幡様はちまねがまつられていた相川岡山団体八幡神社の造営落成祝賀会が十四日、相川担い手センターで行われました。この神社は大正六年新築、その後改築して今年再び改築したもので、出席した八十人一人ひとりが玉串をささげました。



お母さんみこしをかつぐ

札内北小まつりが十三日行われ、一年生から六年生までがいつしよに作った六基のみこしが登場。今年には開校十周年ということもあって、お母さんたちも一週間かけて二基のみこしを作り、子供たちといつしよに街を練り歩きました。



自分たちで会館改築

上稲士別会館の落成祝賀会が六日、地域の人や元住んでいた人など四十人が出席して開かれました。この会館の建設資金は、十年ぐらい前から公区で積み立ててきたもので、出席した人たちの喜びもひとしおのようでした。



ソフトボールで初優勝

管内農業委員会選抜ソフトボール大会が五日、帯広市で開かれ、各ブロック代表八チームが参加。幕別町チームは一回戦の帯広市に十対六で勝った勢いで、準決勝戦足寄町、決勝戦芽室町にも勝ち、念願の初優勝を飾りました。



豊町 神山和美 9歳



南勢 藤原美希 13歳



あかしや町 佐藤千津子 7歳



青葉町 ペンネーム絶対 15歳

なんみの ジュープの

泉町 ペンネーム 海野界莉



編 集室のみなさん、ご苦労さんですね。毎月楽しみにしている一人です。あなたの意見では、たくさんの方のお話があるし、みんなのページでは、たくさんの方の孫たちの漫画が見れるしね、ほんとうに楽しみにしています。今度いつの月か聞かせてください。おじいちゃん、おばあちゃんの話の話をテーマで聞かせてほしいですね。

あかしや町・佐藤正雪(六七)

九月十五日の敬老会に約七百五十人が出席してくれました。腰のまがったおばあちゃん、大きな手のおじいちゃん、そしてみなさんの顔にぎざまれた深いシワ。私たちが知らない、いろんなことをおじいちゃんやおばあちゃんに知っています。いつかお話を聞いて、広報で紹介したいですね。

昨

年、子供が会社の出張でアメリカに行った時、クレヨンをお土産に送ってくれました。太いクレヨンなんです。何年か振りでクレヨンで絵を書いてみようかなーと思いました。『絵画展』に出展した時は、その節はよろしくお願いします。そんなことを考えていますが、さて、どうなることか。緑町・水野たま(六七)

小学校の時クレヨンや墨汁で棒を叩いて、水彩絵の具で色を付けたこともありまして、水野さんが絵をかくのは何年振りですか、クレヨンを手にとって、かこうとしたらドキドキするでしょうね。絵画展を開く町民芸術劇場の運営委員のみなさんも、たくさんの方の町の人が出展してくれば、きっと大喜びですよ。三月の絵画展まで、まだ時間はたっぷりあります。編集室の私たちも楽しみにしています。

広

報係のみなさん、お仕事がんばっていますか？ところで九月号の『あなたの意見』の長瀬勝弘さんは、私の母の親

あなたの名刺で 町をPRしてください

名刺の台紙が新しくなった

町のPRを町民のみなさんにも手伝っていただくとうと、昭和六十三年四月に町では写真入りの名刺の台紙を作りました。このほどその台紙が無くなったのを機会に、二種類入れかえて、また新しい台紙ができ上がりました。

写真はすべてカラーで、パークゴルフのグッズとサーモンコースの様子、ミニスキージャンプ大会のパフォーマンズ部門、明野ヶ丘公園の芝桜、途別川に飛来した白鳥の六種類です。

印刷代は六種類一組の百枚で千円(消費税込み)です。ただし会社のマークを入れるなど、指定以外の文字などを使う場合は、別に料金がかかります。

ご注文は東光印刷(錦町)54-23317 または土谷印刷(若草町)56-3071)まで。相手に名刺を渡す時は名前の方を見せて渡しますが、写真の方を見せながら渡してはどうでしょうか。インパクトがあつて、あなたの顔をおぼえてもらえるかも。





伝言板

迷い犬をあずかっています。
 4歳ぐらいの白いオスのマルチーズをあずかっています。16日に軍岡のホクレン十勝食品工場でみかけ、19日にもいたので家に連れて来ました。トイレのしつけもできていて、お手、おすわりもでき、虫歯があります。
 心あたりの方は、
 緑町 吉田 ☎54-4779まで

広報クイズ④

500円の図書券が当たる

先月はまちがった人が多かったなあ。暑い日が続いたから頭が夏バテになった?さて今月は。

- 女子リレーチームと1位との差は何秒
 (A)百分の46秒 (B)46秒 (C)53秒69
- 発見された土器は何時代の物
 (A)弥生時代 (B)縄文時代 (C)旧石器時代
- 赤いジュウタンを敷いてあるのはどこ
 (A)東京ドーム (B)東京大学
 (C)国会議事堂
- 白寿は数え年何歳のこと
 (A)88歳 (B)99歳 (C)100歳
- 国勢調査は何年ごとに行われる
 (A)10年 (B)5年 (C)毎年

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-(A))、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えて下さい。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃く書いて下さいね。

★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場・広報広聴

★締め切り=毎月15日

★前回の正解は、①-(A)、②-(B)、③-(B)、④-(C)、⑤-(C)でした。応募42通で全問正解が28通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

まつうらじゅり (7・中央町) 鈴木智恵
 (9・新北町) 杉本真澄美 (11・共栄町)
 高萩美紀 (?・青葉町) 菅原タエ (57・暁町)

ほんの一言

☺: あーあ、受験生なのにこんなことしていいのかなあー。さあーて勉強やろおっと。ばいばいさーくん。↓青葉町・ペンネーム絶対(二五)

こちら編集室です

最近、幕別の子どもたちはスゴイなあ。卓球で国体出場、吹奏楽で全道大会出場、リレーで全国第三位など大活躍。みんなの力が一気に爆発したみたいだね。一方おじさんたちの野球は今年もム、ム、ムの戦績でした。来年こそはと言いつけて何年になるだろう(堂前監督、森中堅手)

類です、よろしく。意味のない話題で申し訳ありません。↓桂町・上田めぐみ(三)

♣: この人私の親せきよ、この人見たことがあるーたっくさんの町の人から、こんなふうに言ってもらえるようにしたい、これが編集室のおじさんたちが目指す広報です。知っている人が広報にのつていれば、それだけで読んでみようという気持ちになると思うんですね。だから毎月、できるだけたくさんの人を紹介しようと思っただけで、みなさんの家に「もしもし広報です。取材に協力していただけませんか」という電話がきたら、何も言わずに「わかりました」と返事をしていただければ、こんなうれしいことはありません。

☺: どうしても図書券がほしいんです。三月からずーと出しているのに当たりません。だから一度でいいからください、おねがいします。↓若草町・入谷清史(二)

♣: 気持ちはわかるけどねえ。当たるまで出してよとしか言いようがありません。





稲作転換で肉牛を入れる おいしいと言われるよう努力

稲作転換で4頭の肉牛を48年に入れたのが始まり。今は親子で20頭になりましたが、面積が少ないのでこれ以上は増やせません。牛肉自由化の波を乗り越えるのは非常に厳しいです。でも最近の消費者は量よりも質で選んでくれます。いい牛はおいしい肉になりますので仲間とも、なるべくいい牛を残して、幕別産はおいしいという評価が得られるよう努力していこうと話合っています。

途別 (55歳) 鈴木 義一



酪農ヘルパー利用組合を作った 休む時は休んで元気をつける

乳牛85頭の酪農専業です。去年、若い人達15人で酪農ヘルパー利用組合を作りました。ある家で家族みんなに用事ができたり、休みたいという時に2、3人でその家の仕事をするんです。研修に行くからとか、冠婚葬祭で呼ばれたり、遊びに行った家もありました。今までの酪農家は1年中休みなしでしたが、やっぱり休みたい時は休んで元気をつけて、自由化に立ち向かわなくちゃ。

日新 (34歳) 久保田 良幸

あなただの意見

聞かせてください

農業について

11月号も農業

九月、十月号は農業者のみなさんのご意見を聞いてきました。十一月号では消費者のみなさんが望んでいる農作物とは、幕別の農業はどうなればいいのかなど、消費者側のご意見を聞かせてください。

品質管理にずい分気を使う 国内産の方が絶対安全です

農協連の委託で種子用の小麦と馬鈴薯を作っています。価格は少し高いんですが、その代わり病気などにかからないよう品質管理にはずい分気を使っています。この間輸入オレンジの防腐剤に発ガン性物質が含まれていることがわかりましたね。日本で発ガン性の疑いが出た農薬は、すぐ使用禁止になります。消費者の人達も安全性を重視するなら、輸入物よりも国内産の方が絶対安全です。

古舞 (36歳) 堀田 伸宏



野菜は鮮度で外国産には負けない でも現状維持が精いっぱい

こちら辺は経営面積が少ないから、みんないろんな物を作ってるよ。うちも6町にビートや小麦、馬鈴薯に長イモ、ゴボウ、花、そしてチンゲンサイという中国野菜も作ってるんだ。そうだね、野菜はなんと言っても鮮度が勝負だし、日本は規格が細かく分かれているから、外国産の生野菜には負けないと思うよ。でも今は現状を維持するのが精いっぱいだし、これからどうなるのかなあ。

千住 (34歳) 大野 和也



寄付ありがとうございます

■町へ ▽浦田才一さん(若草町)から十万円▽福祉基金へ
■社会福祉協議会へ ▽幕別町農業協同組合(富谷晴一組合長)から八万五千八百円▽十人会から二千五百五十円▽西川登美さん(千住)から三万円▽小川貞信さん(猿別)

前原総務部長に寄付を手渡す磯部判治さん



磯部判治さんが 町に百万円を寄付

開基百年記念事業基金に積立

磯部判治さん(千住)が八月二十五日、役場を訪れ、「明治二十五年生まれの母、なみが今年数えで九十九歳となり、白寿を迎えたい」と百万円を町に寄付されました。この日は林町長が不在のため前原総務部長が寄付金を受け取り、町では開基百年記念事業基金に積み立てることにしました。

から五万円

■老人クラブへ ▽中田清子さん(緑町)から緑町老人クラブへ一万円▽山本弘さん(宝町)から宝町老人クラブへ三万円▽設楽キンメさん(あかしや町)から札内鉄南老人クラブへ三万円▽磯部判治さん(千住)から千住老人クラブへ十万円、札内寿会老人クラブへ十万円▽西川登美さん(千住)から稲志別老人クラブへ三万円